

# かかりつけ医機能報告制度に係る説明会

1. 概要について
2. 報告について
3. 今後のスケジュールについて

# 1-1. かかりつけ医機能報告制度の概要

## 【背景（人口動態・医療需要・マンパワーの変化の概要）】

### 〈人口動態〉

- 2025年以降、**85歳以上人口を中心に高齢者が増加**し、現役世代が減少
- 地域ごとに65歳以上の人口が増減し、生産年齢人口が減少

### 〈医療需要〉

- 全国の入院患者数は2040年頃にピークを迎えるとともに、死亡数は2040年まで増加傾向にあり、年間約170万人が死亡すると見込まれている。
- 外来患者数は2025年頃にピークを迎えることが見込まれ、65歳以上の割合が増加
- 在宅患者数は2040年以降にピークを迎え、要介護認定率は85歳以上で高くなることから、**医療・介護の複合ニーズを持つ者が一層多くなることが見込まれる。**

### 〈マンパワー〉

- 2040年には医療・福祉職種の人材は現在より多く必要
- 病院や診療所に従事する医師の平均年齢が上昇しており、60歳以上の医師の割合も増加

- **複数の慢性疾患や医療・介護の複合ニーズ等をかかえる高齢者の更なる増加と生産年齢人口の急減が見込まれる中、地域で必要となる時間外診療体制や在宅医療、入退院支援などのかかりつけ医機能の確保が不可欠であると考えられている。**
- **本制度により、今後在宅医療等を担う意向の有無などを含めて、医療医機関におけるかかりつけ医機能の取組状況が分かるようになる。**
- **その情報をもとに、地域のかかりつけ医機能の確保状況を可視化することができ、その上で、不足するかかりつけ医機能の協議に活用し、地域で必要な対策を検討する。**

かかりつけ医機能の確保・強化、地域医療の質の向上を図る

# 1-1. かかりつけ医機能報告制度の概要

令和5年11月15日 第1回かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会資料（一部改変）

## かかりつけ医機能が発揮される制度整備

○かかりつけ医機能が発揮される制度整備としては、（１）医療機能情報提供制度の刷新、（２）かかりつけ医機能報告の創設、（３）患者に対する説明で構成される。

### 趣旨

- かかりつけ医機能については、これまで医療機能情報提供制度における国民・患者への情報提供や診療報酬における評価を中心に組み込まれてきた。一方で、医療計画等の医療提供体制に関する取組はこれまで行われていない。
- 今後、複数の慢性疾患や医療と介護の複合ニーズを有することが多い高齢者の更なる増加と生産年齢人口の急減が見込まれる中、地域によって大きく異なる人口構造の変化に対応して、「治す医療」から「治し、支える医療」を実現していくためには、これまでの地域医療構想や地域包括ケアの取組に加え、かかりつけ医機能が発揮される制度整備を進める必要がある。
- その際には、国民・患者から見て、一人ひとりが受ける医療サービスの質の向上につながるものとする必要があることから、
  - ・ 国民・患者が、そのニーズに応じてかかりつけ医機能を有する医療機関を適切に選択できるための情報提供を強化し、
  - ・ 地域の実情に応じて、各医療機関が機能や専門性に応じて連携しつつ、自らが担うかかりつけ医機能の内容を強化することで、地域において必要なかかりつけ医機能を確保するための制度整備を行う。

### 概要

#### （１）医療機能情報提供制度の刷新（令和６年４月施行）

- ・ かかりつけ医機能（「身近な地域における日常的な診療、疾病の予防のための措置その他の医療の提供を行う機能」と定義）を十分に理解した上で、自ら適切に医療機関を選択できるよう、医療機能情報提供制度による国民・患者への情報提供の充実・強化を図る。

#### （２）かかりつけ医機能報告の創設（令和７年４月施行）

- ・ 慢性疾患を有する高齢者その他の継続的に医療を必要とする者を地域で支えるために必要なかかりつけ医機能（①日常的な診療の総合的・継続的实施、②在宅医療の提供、③介護サービス等との連携など）について、各医療機関から都道府県知事に報告を求めることとする。
- ・ 都道府県知事は、報告をした医療機関が、かかりつけ医機能の確保に係る体制を有することを確認し、外来医療に関する地域の関係者との協議の場に報告するとともに、公表する。
- ・ 都道府県知事は、外来医療に関する地域の関係者との協議の場で、必要な機能を確保する具体的方策を検討・公表する。

#### （３）患者に対する説明（令和７年４月施行）

- ・ 都道府県知事による（２）の確認を受けた医療機関は、慢性疾患を有する高齢者に在宅医療を提供する場合など外来医療で説明が特に必要な場合であって、患者が希望する場合に、かかりつけ医機能として提供する医療の内容について電磁的方法又は書面交付により説明するよう努める。

# 1-1. かかりつけ医機能報告制度の概要

## かかりつけ医機能が発揮される制度整備の骨格

令和 5 年9月29日 | 第102回社会保障審議会医療部会 | 資料 1

- 国民・患者はそのニーズに応じて医療機能情報提供制度等を活用して、かかりつけ医機能を有する医療機関を選択して利用。
- 医療機関は地域のニーズや他の医療機関との役割分担・連携を踏まえつつ、かかりつけ医機能の内容を強化。

### 国民・患者の医療ニーズ

- ◆ 日常的によくある疾患への幅広い対応
- ◆ 休日・夜間の対応
- ◆ 入院先の医療機関との連携、退院時の受入
- ◆ 在宅医療
- ◆ 介護サービス等との連携

#### 医療機能情報提供制度（H18）



### 制度整備の内容

#### 医療機能情報提供制度の刷新

- ・ 医療機関は、**国民・患者による医療機関の選択に役立つわかりやすい情報**及び**医療機関間の連携に係る情報**を都道府県知事に報告
  - ① 情報提供項目の見直し
  - ② 全国統一のシステムの導入

#### かかりつけ医機能報告による機能の確保

- ・ 慢性疾患を有する高齢者等を地域で支えるために必要な**かかりつけ医機能**について、**医療機関から都道府県知事に報告**。
- ・ 都道府県知事は、**報告をした医療機関が、かかりつけ医機能の確保に係る体制を有することを確認し、外来医療に関する地域の関係者との協議の場に報告するとともに、公表（※）**。
- ・ あわせて、外来医療に関する地域の協議の場で「**かかりつけ医機能**」を**確保する具体的方策を検討・公表**。

※ 医師により継続的な管理が必要と判断される患者に対して、医療機関が、提供するかかりつけ医機能の内容を説明するよう努めることとする。



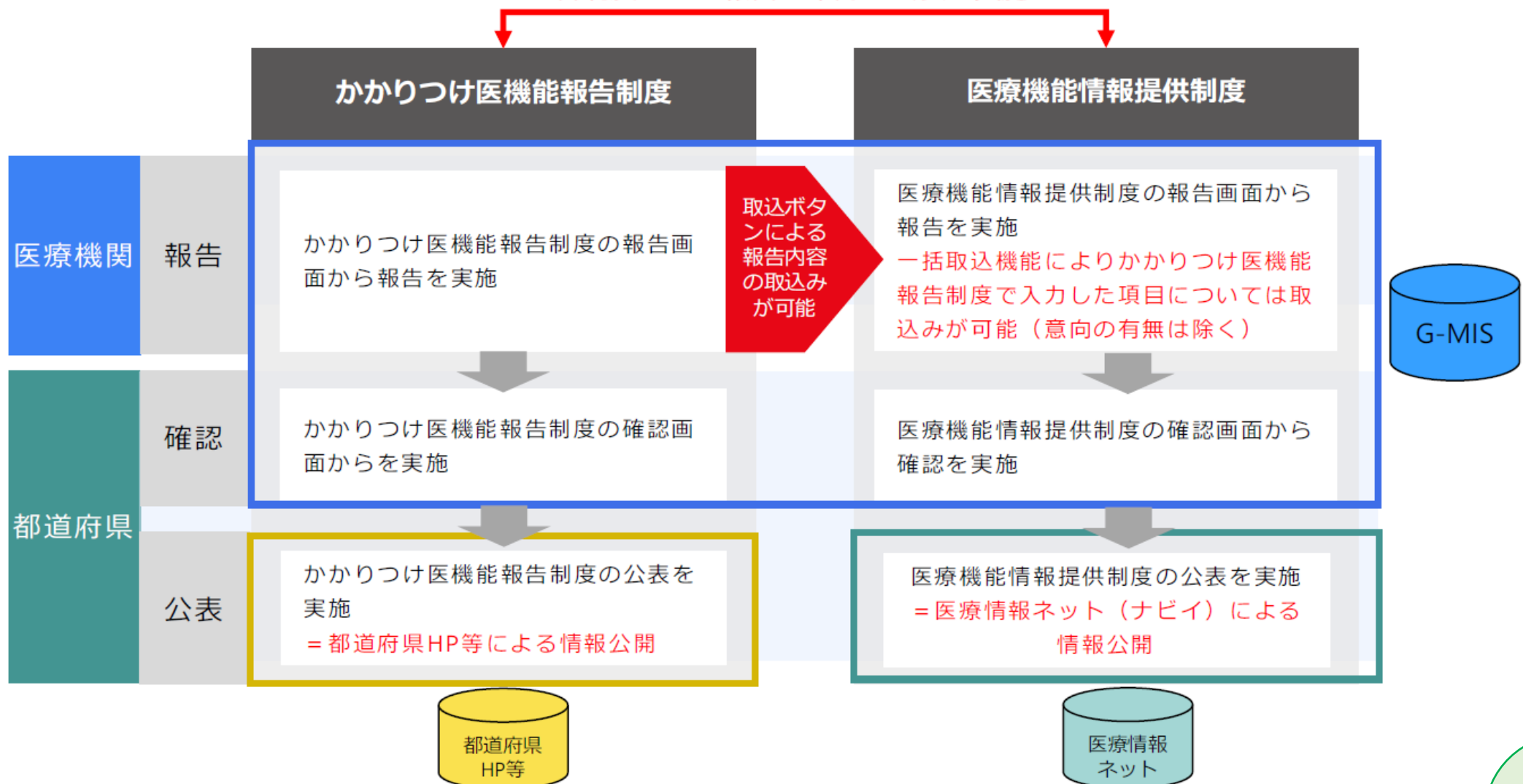
# 1-1. かかりつけ医機能報告制度の概要

かかりつけ医機能報告制度に係る自治体向け説明会（第4回）

## かかりつけ医機能報告制度と医療機能情報提供制度の運用について

- かかりつけ医機能報告制度と医療機能情報提供制度の運用については以下のとおりです。
- かかりつけ医機能報告制度と医療機能情報提供制度において、報告・確認・公表は各制度ごとに実施する必要がありますが、G-MISの機能を活用することにより、かかりつけ医機能報告項目の二重入力是不要となります（G-MISの取込機能による）。

各制度ごとに報告・確認・公表を実施

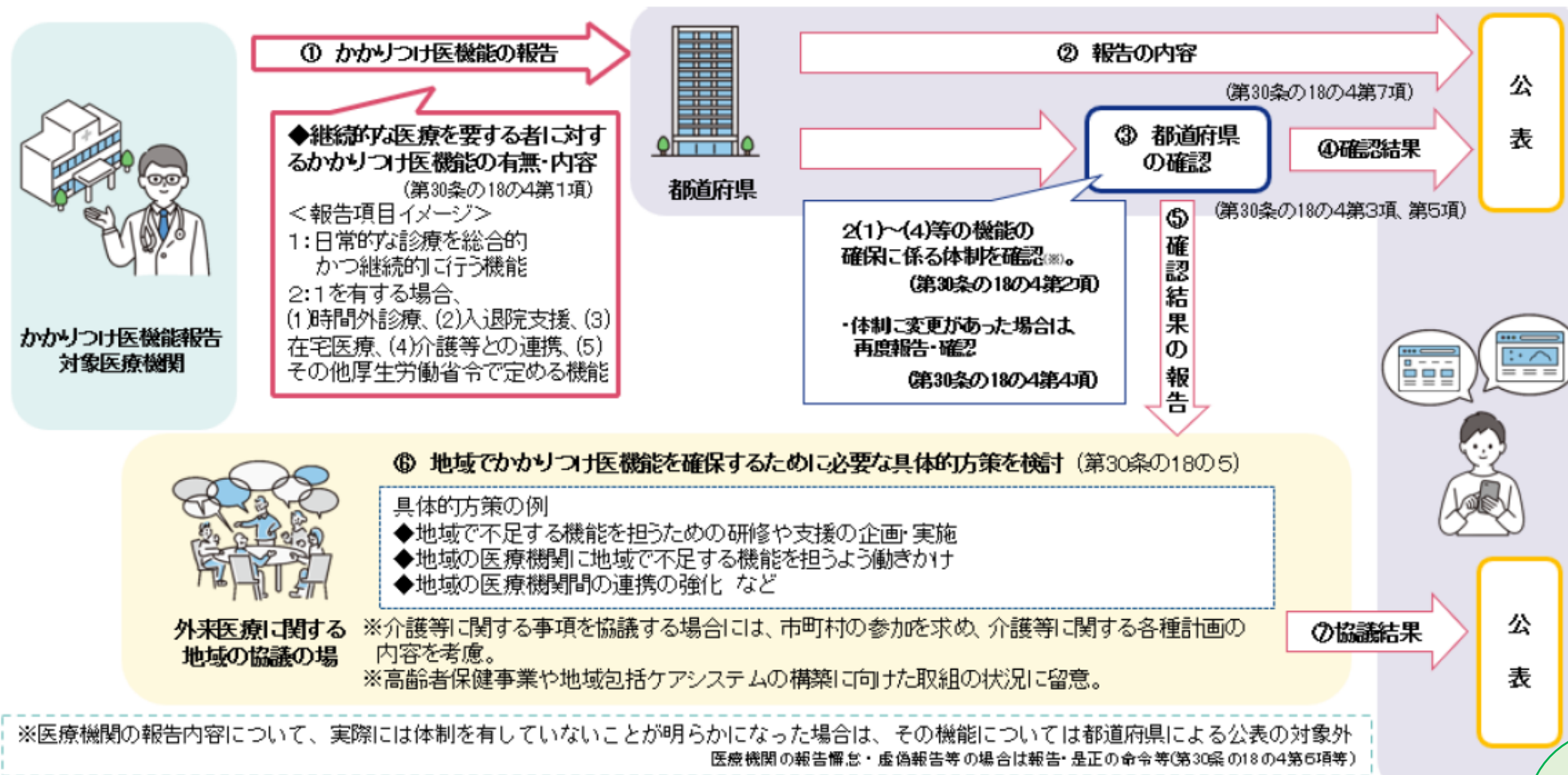


# 1-1. かかりつけ医機能報告制度の概要

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）

- 下図は、かかりつけ医機能報告制度の全体の流れを示したものです。医療機関（特定機能病院及び歯科医療機関を除く）は、毎年1月から3月の間に、かかりつけ医機能について都道府県知事に報告を行います。
- 都道府県知事は報告内容を確認し、地域関係者との協議の場において、かかりつけ医機能を確保するための具体的な方策を検討することになります。

図 かかりつけ医機能報告概要



# 1-2. かかりつけ医機能報告制度に基づく医療機関の実施事項

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）

- 特定機能病院及び歯科医療機関を除く、全ての病院・診療所がかかりつけ医機能報告の対象となります。  
各医療機関におけるかかりつけ医機能の内容について、①報告、②院内掲示、③患者説明の実施が必要となります。

## 医療機関の実施事項

本資料では報告に係る内容を中心にご説明します

### ①報告

毎年1～3月に、かかりつけ医機能の内容について都道府県に報告をお願いします。

※原則、医療機関等情報支援システム（G-MIS）による報告となります。

#### 1号機能

日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

#### 2号機能

(イ) 通常の診療時間外の診療 (ロ) 入退院時の支援  
(ハ) 在宅医療の提供 (ニ) 介護サービス等と連携した医療提供

### ②院内掲示

かかりつけ医機能（1号機能）を有する医療機関の要件として、  
報告したかかりつけ医機能の一定の内容を院内掲示する必要があります。  
※G-MISにおいて、院内掲示用の様式を出力することができます。

### ③患者説明

おおむね4ヶ月以上継続して医療を提供することが見込まれる場合で、  
患者・家族から求めがあったときは、治療計画等についてご説明をお願いします。  
※かかりつけ医機能を有する医療機関は、原則、医療法に基づく患者への説明が努力義務となります。

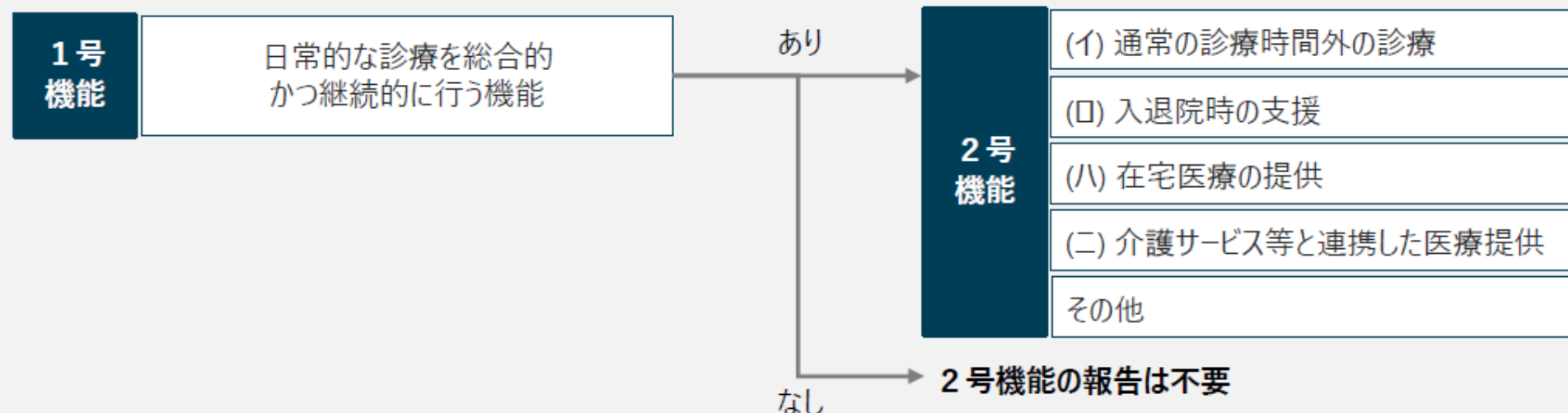


# 1-3. 報告を行うかかりつけ医機能について（1号機能及び2号機能）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）

- かかりつけ医機能報告は、大きく、下記の1号機能と2号機能に分けられます。
- 1号機能を有する医療機関においては、2号機能に係る報告事項についての報告を行うこととなります。

## かかりつけ医機能報告の流れ



## かかりつけ医機能が「有り」となる要件

### < 1号機能 >

- 以下の報告事項のうち、（★）を付記している報告事項について、「実施している」あるいは「実施できる」ことが1号機能を有することの要件となります。
  - 「具体的な機能」を有すること及び「報告事項」について院内掲示による公表をしていること（★）
  - かかりつけ医機能に関する研修の修了者・総合診療専門医の有無
  - 17の診療領域ごとの一次診療の対応可否の有無、いずれかの診療領域について一次診療を行うことができること（★）
  - 一次診療を行うことができる疾患
  - 医療に関する患者からの相談に応じることができること(継続的な医療を要する者への継続的な相談対応を含む)（★）

### < 2号機能 >

- 各報告事項のうち、いずれかについて「実施している」あるいは「実績がある」ことが、各2号機能を有することの要件となります。



- 報告にあたってはG-MISのユーザ名、パスワードに加え、保健医療機関番号が必要になります。
- スマートフォンやタブレットには対応しておりませんので、お持ちのパソコンからご報告ください。

### 留意事項

#### ●報告基準日

- ✓原則として、毎年1月1日時点の体制や状況について報告をお願いします。
- ✓実績に関する報告事項は、直近1年分（前年1月1日から12月31日）が報告対象ですが、診療報酬に関する報告は、前年度4月から3月までの1年度分の実績(合計値)が報告対象となります。
- ✓その他、報告項目の説明事項に別途定めがある場合はその内容によって入力をお願いします。

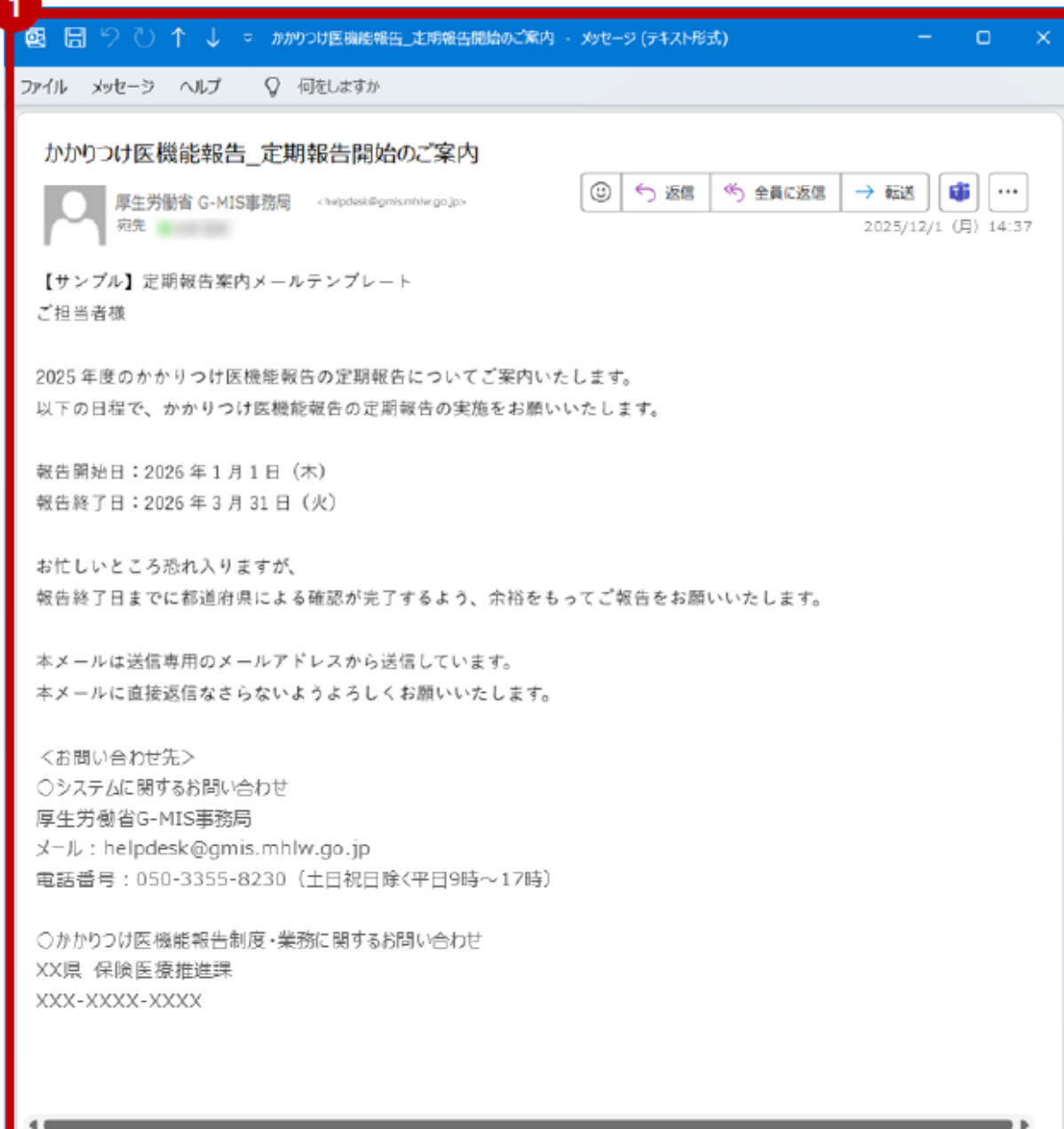
#### ●NDBプレプリント項目

- ✓診療報酬に関する報告事項に関しては、前年度4月診療分から3月診療分の電子レセプトによる診療報酬請求がある医療機関では、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）からの集計結果をあらかじめ反映（プレプリント）しているため、確認の上必要に応じて修正を行ってください。
- ✓プレプリントがない場合は、入力が必要となります。

#### ●その他

- ✓報告期間中に新規開設された医療機関については次年度から報告対象となります。
- ✓報告された内容は医療情報ネット「ナビイ」において公表されます。

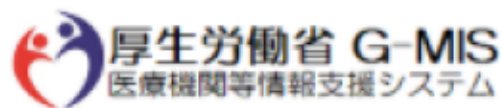
1



① 都道府県から定期報告案内メールを受領します。

② 下記URLにアクセスします。  
<https://www.med-login.mhlw.go.jp/>

定期報告の案内はメールのほかに、紙面による通知の場合もあります。



3

ユーザ名

4

パスワード

5

ログイン

③ ユーザ名を入力します。

④ パスワードを入力します。

⑤ 「ログイン」をクリックします。



パスワードをお忘れですか？



1. ユーザ名・パスワードは医療機能情報提供制度で作成したものを共通で利用します。
2. ユーザ名を忘れた場合は厚生労働省G-MIS事務局までお問合せください。  
【お問合せ先】  
050-3355-8230（平日9時～17時）
3. 設定したパスワードを忘れた場合や、パスワードを変更したい場合はパスワードの再設定ができます。



⑥ 接続先選択画面の「G-MIS」をクリックします。



The screenshot shows the G-MIS homepage. At the top, there is a search bar and a navigation menu. Below the search bar, there is a message about user registration. The main content area features a large orange button labeled 'ユーザ 基礎情報登録' (User Basic Information Registration). Below this, there are several colored buttons: '感染症関連調査' (Infectious Disease Related Survey), '後方支援医療機関についての調査' (Survey on Backward Support Medical Institutions), '病床機能報告' (Bed Function Report), '外来機能報告' (Outpatient Function Report), '特例水準申請(医師時短計画)' (Special Standard Application (Physician Shortage Plan)), and '各種調査・報告' (Various Surveys and Reports). At the bottom left, there are two green buttons: 'かかりつけ医機能報告制度' (Primary Care Physician Function Reporting System) and '医療機能情報提供制度' (Medical Function Information Provision System). The 'かかりつけ医機能報告制度' button is highlighted with a red box and a red circle with the number '1'. A blue dashed line with a lightbulb icon connects this button to a callout box on the right.

①「かかりつけ医機能報告制度」をクリックします。

医療機能情報提供制度の報告では、かかりつけ医機能報告制度で報告した内容を取り込むことができます。そのため、かかりつけ医機能報告制度の報告対象医療機関（特定機能病院および歯科診療所を除く病院・診療所）は先にかかりつけ医機能報告制度より実施ください。

## 2-1. G-MIS操作

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）

ホーム 調査 ▼ お知らせ お知らせ FAQ レポート ▼ 医療機関マスタ

検索キーワードを入力してください

機関コード: 900001 機関名: [REDACTED]

厚生労働省からのお知らせ

定期報告等の実施前に必ず、①下記2点、画面下部の「都道府県からの情報」をご確認をお願いします。  
【重要なお知らせ】病院、診療所の「所在地」の入力には都道府県名の入力が必要です（「かかりつけ医機能報告制度」）  
【病院・診療所の皆様へ】（お知らせ）かかりつけ医機能報告制度の定期報告用「医療機関番号確認画面」で、誤って「スキップする」をクリックしてしまった場合の対処法

2 定期報告 変更報告 報告取消

報告状況

報告名	報告状況	報告日	確認完了日	登録年月日	更新年月日	
2025年度_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）_本報告				2025-07-22	2025-07-22	確認
2025年度_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）_報告済				2025-06-24	2025-07-16	確認
2025年度_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）_確認完了済				2025-06-06	2025-06-24	確認
2025年度_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）_報告済				2025-05-19	2025-07-09	確認

②「定期報告」をクリックします。

③「OK」をクリックします。

定期報告の入力を開始します。よろしいですか？

キャンセル OK

3

### 保険医療機関番号確認画面

保険医療機関番号を持つ医療機関は、診療報酬項目の「算定回数」および「レセプト件数」の前年度実績件数をプレプリントできます。

プレプリントが必要な場合、前年度末時点の保険医療機関番号を入力してください。

なお、1度スキップした場合、診療報酬項目の「算定回数」および「レセプト件数」の前年度実績件数について、

NDB集計データによるプレプリントはおこなわれませんのでご注意ください。

前年度末時点の保険医療機関番号：

4

5

保険医療機関番号を  
データベースと照合する

スキップする

! a・b

閉じる

データベースとの照合に成功しました。入力画面へ遷移します。

6

OK

④ 前年度末時点の保険医療機関番号を入力します。

⑤ 「保険医療機関番号をデータベースと照合する」をクリックします。

⑥ 「OK」をクリックします。

- !
- a. 保険医療機関番号が不明等の理由で入力できない場合、「スキップする」をクリックし⑦の手順に遷移します。
  - b. 「スキップする」をクリックすると、診療報酬項目の「算定回数」および「レセプト件数」がプレプリント（自動入力）されませんので、ご注意ください。なお、誤って「スキップする」をクリックした場合でも、手順②で「報告取消」をしたうえで、「定期報告」をクリックすると入力し直すことができます。

💡 ④⑤⑥の手順を一度通過すると、次回以降のアクセス時は⑦の画面に遷移します。

ホーム 調査 お知らせ お問い合わせ FAQ レポート 医療機関マスタ 検索キーワードを入力してください

報告 2025年度\_定期報告（かかりつけ医機能報告制度） 報告 引き直し 入力内容確認

正式名称 正式名称（フリガナ） 所在地 報告状況 稼働状況

各機能の名称

日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能	通常の診療時間外の診療	入院時の支援	在宅医療の提供	介護サービス等と連携した医療提供
-	-	-	-	-

各項目の入力を行う場合は、「入力」ボタンをクリックし、各報告画面で内容を入力してください。  
下記の各項目にかかる「入力状況」がすべて「入力完了」であることを確認し、「報告」ボタンをクリックしてください。

分類	項目	入力状況	更新日時	入力
1号機能	(1) 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能	未入力		入力
2号機能	(1) 通常の診療時間外の診療	未入力		入力
	(2) 入院時の支援	未入力		入力
	(3) 在宅医療の提供	未入力		入力
	(4) 介護サービス等と連携した医療提供	未入力		入力
	(5) その他の報告事項	未入力		入力

⑦「1号機能（1）日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能」の「入力」をクリックします。

（④～⑥の保険医療機関番号をデータベースと照合する手順を実施し、成功した場合）診療報酬項目の「算定回数」および「レセプト件数」の前年度実績件数が自動入力されています。各項目の「入力」をクリックしてご確認ください。



### (1) 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

8

連絡担当者

記入日 ①

2026/2/1

\*記入者（氏名）

記入者（フリガナ）

役職名

連絡先ファクシミリ番号 ①

\*電子メールアドレス ①

「具体的な機能」を有すること及び「報告事項」について院内掲示により公表していること

キャンセル

一時保存

登録

（次ページに続く）

### ⑧ 各報告項目に入力します。

1. 令和8年度以降は前年度の回答内容が自動で入力されます。変更がある項目について修正をお願いします。
2. 「\*」が付されている項目は必須項目です。
3. 作業を途中で中断する場合は「一時保存」をクリックします。

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【1号機能】 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

【1号機能】 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

「具体的な機能」を有すること及び「報告事項」について院内掲示により公表していること	
1	「具体的な機能」の有無及び「報告事項」の院内掲示による公表 0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り 該当番号 →
かかりつけ医機能に関する研修の修了者の有無、総合診療専門医の有無	
2	かかりつけ医機能に関する研修の修了者 0：無し 1：有り ※以下は「かかりつけ医機能に関する研修の修了者」が「有り」選択時のみ必須です。 かかりつけ医機能に関する修了した研修 ※かかりつけ医機能に関する修了した研修全てをご選択ください。 ※「その他研修」をご選択した場合、必ず「（※）その他研修として修了した研修」を選択してください。 1：日本医師会生涯教育制度 2：日医かかりつけ医機能研修 3：日本医師会かかりつけ医機能報告制度に係る研修 4：全日本病院協会総合医育成プログラム 5：日本病院会病院総合医育成プログラム 6：その他研修（※） （※）その他研修として修了した研修 かかりつけ医機能に関する研修の修了者数（常勤換算） ※常勤換算については、医療法上の算定式に基づき 小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位までを算出してください。 （例）貴院の定めた常勤医の勤務時間が週40時間であり、従事者2人（週40時間が1人、週20時間が1人）の場合 40÷40=1人（常勤） 20÷40=0.5人（非常勤） (40÷40) + (20÷40) =1.5人（総数）
3	総合診療専門医 0：無し 1：有り 該当番号 → ※以下は「総合診療専門医」が「有り」選択時のみご回答ください。 総合診療専門医数（常勤換算） ※常勤換算については、医療法上の算定式に基づき、 小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位までを算出してください。

「具体的な機能」は法令に定めるかかりつけ医機能（1号機能）（※）を指しております。かかりつけ医機能を有することについて院内掲示を行っている場合は、「有り」をご選択ください。

（※）継続的な医療を要する患者に対して、発生頻度の高い疾患についての診療を行い、日常的な診療において、患者の生活背景を把握し、適切な診療・保健指導を行い、必要な場合には、地域の医師・医療機関と協力して解決策を提供する機能。

かかりつけ医機能に関係すると考える任意の研修を修了した者がいる場合は、「有り」を選択してください。  
常勤・非常勤は問いません。  
（報告対象となる望ましい研修項目は、「かかりつけ医機能報告に係る医師の研修について（通知）」（医政総発0827第1号）にて整理されている。）

常勤・非常勤に関わらず、一般社団法人専門医機構が認定する総合診療専門医が勤務している場合は、「有り」をご選択ください。

2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

【1号機能】 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

17の診療領域ごとの一次診療の対応可能な有無、いずれかの診療領域について一次診療を行うことができること（一次診療を行うことができる疾患も報告する）

4

一次診療の対応ができる領域  
※一次診療の対応ができる領域全てをご選択ください。

4

一次診療が対応可能な領域をすべてご選択ください。該当する領域がない場合は、「該当無し」をご選択ください。

0: 該当無し			
1: 皮膚・形成外科領域		7: 消化器系領域	
2: 神経・脳血管領域		8: 肝・胆道・膵臓領域	
3: 精神科・神経科領域		9: 循環器系領域	
4: 眼領域		10: 腎・泌尿器系領域	
5: 耳鼻咽喉領域		11: 産科領域	
6: 呼吸器領域		12: 婦人科領域	
		13: 乳腺領域	
		14: 内分泌・代謝・栄養領域	
		15: 血液・免疫系領域	
		16: 筋・骨格系及び外傷領域	
		17: 小児領域	

5

一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患（例）  
※一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患（例）全てをご選択ください。  
※「その他の疾患」をご選択した場合、必ず「（※）一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患（その他）」欄に疾患名をご回答ください。

0: 該当無し			
1: 貧血		15: 近視・遠視・老眼（屈折及び調節の異常）	
2: 糖尿病		16: 中耳炎・外耳炎	
3: 脂質異常症		17: 難聴	
4: 統合失調症		18: 高血圧	
5: うつ（気分障害、躁うつ病）		19: 狭心症	
6: 不安、ストレス（神経症）		20: 不整脈	
7: 睡眠障害		21: 心不全	
8: 認知症		22: 喘息・COPD	
9: 頭痛（片頭痛）		23: かぜ、感冒	
10: 脳梗塞		24: アレルギー	
11: 末梢神経障害		25: 下痢、胃腸	
12: 結膜炎、角膜炎、涙腺炎		26: 便秘	
13: 白内障		27: 慢性肝炎（肝	
14: 緑内障		28: 皮膚の疾患	
		29: 関節症（関節リウマチ、脱臼）	
		30: 骨粗しょう症	
		31: 腰痛症	
		32: 頸腕症候群	
		33: 外傷	
		34: 骨折	
		35: 前立腺肥大症	
		36: 慢性腎臓病	
		37: 更年期障害	

5

一次診療の対応ができる領域等も踏まえつつ、実際に一次診療を行うことができる疾患をすべてご選択ください。  
一部の項目は、括弧内に例示として、特定の症状や疾患が記載されています。これは、そのカテゴリーに含まれる代表的な症例を示しており、必ずしもその特定の疾患に限定されるものではありません。

（※）一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患（その他）

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【1号機能】 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

6

医療に関する患者からの相談に応じることができること（継続的な医療を要する者への継続的な相談対応を含む）

0：不可（意向無し）

1：不可（意向有り）

2：可能

該当番号 ⇒

特記事項

自身の専門領域にかかわらず、患者からの医療や健康等への相談に対応している場合は、「可能」をご選択ください。

7

医師並びに外来医療を担う看護師及び専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算（※1）	在籍人数 在籍者の常勤換算（※1）
(1) 医師	人	人	
(2) 外来の看護師	人	人	
(3) 在宅に関わる看護師	人	人	
(4) 専門看護師（※2）			人
(5) 認定看護師（※3）			
(6) 特定行為研修修了看護師	人		

7

・外来の看護師数、在宅に関わる看護師数  
勤務時間の概ね8割以上を外来部門または在宅医療部門で勤務する常勤・非常勤の看護師数をご回答ください。

（※1） 常勤換算については、医療法上の算定式に基づき、小数点以下第2位を切り捨



# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

## 【1号機能】 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

《 機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称 》

（※2） 在籍する専門看護師を全てご選択ください。

<input type="checkbox"/>	0：該当無し				
<input type="checkbox"/>	1：がん看護	<input type="checkbox"/>	6：母性看護	<input type="checkbox"/>	11：在宅看護
<input type="checkbox"/>	2：精神看護	<input type="checkbox"/>	7：慢性疾患看護	<input type="checkbox"/>	12：遺伝看護
<input type="checkbox"/>	3：地域看護	<input type="checkbox"/>	8：急性・重症患者看護	<input type="checkbox"/>	13：災害看護
<input type="checkbox"/>	4：老人看護	<input type="checkbox"/>	9：感染症看護	<input type="checkbox"/>	14：放射線看護
<input type="checkbox"/>	5：小児看護	<input type="checkbox"/>	10：家族支援		

（※3） 在籍する認定看護師を全てご選択ください。

<input type="checkbox"/>	0：該当無し				
<input type="checkbox"/>	1：A課程 感染管理	<input type="checkbox"/>	8：A課程 慢性呼吸器疾患看護	<input type="checkbox"/>	15：A課程 不妊症看護
<input type="checkbox"/>	2：A課程 がん放射線療法看護	<input type="checkbox"/>	9：A課程 訪問看護	<input type="checkbox"/>	16：A課程 摂食・嚥下障害看護
<input type="checkbox"/>	3：A課程 がん化学療法看護	<input type="checkbox"/>	10：A課程 手術看護	<input type="checkbox"/>	17：A課程 糖尿病看護
<input type="checkbox"/>	4：A課程 緩和ケア	<input type="checkbox"/>	11：A課程 小児救急看護	<input type="checkbox"/>	18：A課程 乳がん看護
<input type="checkbox"/>	5：A課程 がん性疼痛看護	<input type="checkbox"/>	12：A課程 新生児集中ケア	<input type="checkbox"/>	19：A課程 認知症看護
<input type="checkbox"/>	6：A課程 救急看護	<input type="checkbox"/>	13：A課程 慢性心不全看護	<input type="checkbox"/>	20：A課程 脳卒中リハビリテーション看護
<input type="checkbox"/>	7：A課程 集中ケア	<input type="checkbox"/>	14：A課程 透析看護	<input type="checkbox"/>	21：A課程 皮膚・排泄ケア
<input type="checkbox"/>	22：B課程 感染管理	<input type="checkbox"/>	29：B課程 手術看護	<input type="checkbox"/>	36：B課程 糖尿病看護
<input type="checkbox"/>	23：B課程 がん放射線療法看護	<input type="checkbox"/>	30：B課程 小児プライマリケア	<input type="checkbox"/>	37：B課程 乳がん看護
<input type="checkbox"/>	24：B課程 がん薬物療法看護	<input type="checkbox"/>	31：B課程 新生児集中ケア	<input type="checkbox"/>	38：B課程 認知症看護
<input type="checkbox"/>	25：B課程 緩和ケア	<input type="checkbox"/>	32：B課程 心不全看護	<input type="checkbox"/>	39：B課程 脳卒中看護
<input type="checkbox"/>	26：B課程 クリティカルケア	<input type="checkbox"/>	33：B課程 腎不全看護	<input type="checkbox"/>	40：B課程 皮膚・排泄ケア
<input type="checkbox"/>	27：B課程 呼吸器疾患看護	<input type="checkbox"/>	34：B課程 生殖看護		
<input type="checkbox"/>	28：B課程 在宅ケア	<input type="checkbox"/>	35：B課程 摂食嚥下障害看護		

2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

【1号機能】 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

8

全国医療情報プラットフォームに参加・活用する体制の有無		
オンライン資格確認を行う体制	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
オンライン資格確認等システムの活用により診療情報等を診察室等で閲覧・活用できる体制	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
電子処方箋により処方箋を発行できる体制	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
電子カルテ情報共有サービスにより取得される診療情報等を活用する体制	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
全国医療情報プラットフォームの参加・活用状況、服薬の一元管理の実施状況		
自院で処方した薬剤について、薬局からの処方内容の変更提案や服薬情報（トレーシングレポート等）の提供に対応し、薬局と連携して服薬を一元管理する体制	0：無し（院内処方のみ） 1：無し（意向無し） 2：無し（意向有り） 3：有り	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
自院において患者の持参薬を一元管理し、処方内容の整理及び説明を実施する体制	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
複数の医療機関からの処方又は複数の薬局での調剤を受ける患者に対して、服薬を一元的に管理する地域の体制整備への参加	0：参加していない（意向無し） 1：参加していない（意向有り） 2：参加している	該当番号 ⇒ <input type="text"/>
特記事項		
<div>8</div> <p>&lt;全国医療情報プラットフォーム&gt; オンライン資格確認等システムのネットワークを拡充し、レセプト・特定健診等情報に加え、予防接種、電子処方箋情報、自治体検診情報、電子カルテ等の医療（介護を含む）全般にわたる情報について共有・交換できる全国的なプラットフォーム。</p>		

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【2号機能】 通常の診療時間外の診療

【2号機能】（イ） 通常の診療時間外の診療

1号機能を有する報告対象機関は2号機能をご報告ください

自院又は連携による通常の診療時間外の診療体制の確保状況

9

在宅当番医制（地域患者の時間外等外来に係る複数医療機関による  
輪番体制）への参加

- 0：無し（意向無し）
- 1：無し（意向有り）
- 2：有り（月1回未満）
- 3：有り（月1回）
- 4：有り（月2～3回）
- 5：有り（月4～5回）
- 6：有り（月6～9回）
- 7：有り（月10回以上）

該当番号 →

在宅当番医制に参加している場合は、「有り」の中で該当する項目をご選択ください。  
月ごとの平均回数は、前年の1月1日から12月31日までの実績を基に計算してください。

10

休日夜間急患センター等に参加

- 0：無し（意向無し）
- 1：無し（意向有り）
- 2：有り（月1回未満）
- 3：有り（月1回）
- 4：有り（月2～3回）
- 5：有り（月4～5回）
- 6：有り（月6～9回）
- 7：有り（月10回以上）

該当番号 →

休日夜間急患センター又はそれに類似する施設に医師を派遣している場合は、「有り」の中で該当する項目をご選択ください。  
月ごとの平均回数は、前年の1月1日から12月31日までの実績を基に計算してください。

11

自院の外来患者又は家族からの平日準夜帯（概ね午後6時から午後10時）の対応

「無し（意向無し）」の場合は、以下より選択してください。

0：無し（意向無し）

「無し（意向有り）」または「有り」の場合は、以下より選択してください。

1：無し（意向有り（自院での診療時間外の診療対応））

2：無し（意向有り（自院での診療時間外の電話対応））

3：無し（意向有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応））

4：無し（意向有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応））

5：有り（自院での診療時間外の診療対応）

6：有り（自院での診療時間外の電話対応）

7：有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応）

8：有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応）

11

診療時間外である平日準夜帯、平日深夜帯、休日に、外来患者や家族に対し何らかの診療や電話対応を行っている場合は選択肢「有り」の中で該当する項目をすべてご選択ください。今後対応を検討している場合は、選択肢「無し（意向有り）」の中で該当する項目をご選択ください。

## 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

### 【2号機能】 通常の診療時間外の診療

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

自院の外来患者又は家族からの平日深夜帯（概ね午後10時から明朝6時）の対応

「無し（意向無し）」の場合は、以下より選択してください。

<input type="text"/>	0：無し（意向無し）
----------------------	------------

「無し（意向有り）」または「有り」の場合は、以下より選択してください。

<input type="text"/>	1：無し（意向有り（自院での診療時間外の診療対応））
<input type="text"/>	2：無し（意向有り（自院での診療時間外の電話対応））
<input type="text"/>	3：無し（意向有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応））
<input type="text"/>	4：無し（意向有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応））
<input type="text"/>	5：有り（自院での診療時間外の診療対応）
<input type="text"/>	6：有り（自院での診療時間外の電話対応）
<input type="text"/>	7：有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応）
<input type="text"/>	8：有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応）

自院の外来患者又は家族からの休日の対応

「無し（意向無し）」の場合は、以下より選択してください。

<input type="text"/>	0：無し（意向無し）
----------------------	------------

「無し（意向有り）」または「有り」の場合は、以下より選択してください。

<input type="text"/>	1：無し（意向有り（自院での診療時間外の診療対応））
<input type="text"/>	2：無し（意向有り（自院での診療時間外の電話対応））
<input type="text"/>	3：無し（意向有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応））
<input type="text"/>	4：無し（意向有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応））
<input type="text"/>	5：有り（自院での診療時間外の診療対応）
<input type="text"/>	6：有り（自院での診療時間外の電話対応）
<input type="text"/>	7：有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応）
<input type="text"/>	8：有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応）

2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

【2号機能】 通常の診療時間外の診療

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

※以下は「自院の外来患者又は家族からの平日準夜帯（概ね午後6時から午後10時）の対応」「自院の外来患者又は家族からの平日深夜帯（概ね午後10時から明朝6時）の対応」「自院の外来患者又は家族からの休日の対応」のいずれかが「有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の診療対応）」「有り（自院での一定の対応に加えて複数の他医療機関と連携した診療時間外の電話対応）」のいずれか選択時のみ「連携医療機関名称」をご回答ください。

連携医療機関名称 1	
連携医療機関名称 2	

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

自院における時間外対応加算 1～4 の届出状況、時間外加算、深夜加算、休日加算の算定状況

12 自院における時間外対応加算の届出  
※「診療所」のみご回答ください。

0：届出無し  
1：時間外対応加算 1  
2：時間外対応加算 2  
3：時間外対応加算 3  
4：時間外対応加算 4

該当番号 →

算定回数【令和6年4月から令和7年3月診療分】

時間外加算または時間外特例医療機関加算の算定回数（初診料、再診料、外来診療料分）	
深夜加算の算定回数（初診料、再診料、外来診療料分）	
休日加算の算定回数（初診料、再診料、外来診療料分）	☆
夜間・早朝等加算の算定回数（初診料、再診料分）※「診療所」のみご回答ください。	☆

12 G-MISでの報告の場合、診療報酬項目については、前年度のレセプトデータの値がプレプリント（自動入力）されますが、各医療機関においてもご確認ください。以降の他の診療報酬項目についても同様です。

特記事項



# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【2号機能】入退院時の支援

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

【2号機能】（口）入退院時の支援

1号機能を有する報告対象機関は2号機能をご報告ください

自院又は連携による後方支援病床の確保状況、連携して確保する場合は連携医療機関の名称

13

自院又は連携による後方支援病床（在宅患者の病状が急変した場合に入院させるための病床）の確保

- 0：無し（意向無し）  
1：無し（意向有り（自院による確保））  
2：無し（意向有り（連携による確保））  
3：無し（意向有り（自院及び連携による確保））  
4：有り（自院による確保）  
5：有り（連携による確保）  
6：有り（自院及び連携による確保）

該当番号 →

※以下は「自院又は連携による後方支援病床（在宅患者の病状が急変した場合に入院させるための病床）の確保」が「有り（連携による確保）」または「有り（自院及び連携による確保）」のいずれか選択時のみ「連携医療機関名称」をご回答ください。

連携医療機関名称 1  
連携医療機関名称 2  
連携医療機関名称 3  
連携医療機関名称 4  
連携医療機関名称 5  
連携医療機関名称 6  
連携医療機関名称 7  
連携医療機関名称 8

13

自院又は連携により在宅患者が病状悪化で入院が必要になった際に受入れができる病床を確保している場合は、「有り」の中で該当する項目をご選択ください。

2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

【2号機能】入退院時の支援

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

自院における入院時の情報共有の診療報酬項目の算定状況	
算定回数【令和6年4月から令和7年3月診療分】	
入退院支援加算の算定回数（精神科を含む）	☆

自院における地域の退院ルールや地域連携クリティカルパスへの参加状況													
14 地域の入退院支援ルールや 地域連携クリティカルパスへの参加状況	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り（入退院支援ルール）） 2：無し（意向有り（地域連携クリティカルパス）） 3：無し（意向有り（入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス）） 4：有り（入退院支援ルール） 5：有り（地域連携クリティカルパス） 6：有り（入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス）												
	該当番号 →												
※以下は「地域の入退院支援ルールや地域連携クリティカルパスへの参加状況」が「有り（地域連携クリティカルパス）」または「有り（入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス）」のいずれか選択時のみご回答ください。													
参加する地域連携クリティカルパス													
<table><tr><td>1：肺がん</td><td>4：肝がん</td><td>7：急性心筋梗塞</td></tr><tr><td>2：胃がん</td><td>5：乳がん</td><td>8：糖尿病</td></tr><tr><td>3：大腸がん</td><td>6：脳卒中</td><td>9：大腿骨頸部</td></tr><tr><td></td><td></td><td>10：その他</td></tr></table>		1：肺がん	4：肝がん	7：急性心筋梗塞	2：胃がん	5：乳がん	8：糖尿病	3：大腸がん	6：脳卒中	9：大腿骨頸部			10：その他
1：肺がん	4：肝がん	7：急性心筋梗塞											
2：胃がん	5：乳がん	8：糖尿病											
3：大腸がん	6：脳卒中	9：大腿骨頸部											
		10：その他											

自院における退院時の情報共有・共同指導の診療報酬項目の算定状況	
算定回数・レセプト件数【令和6年4月から令和7年3月診療分】	
開放型病院共同指導料（Ⅰ）の算定回数	
開放型病院共同指導料（Ⅰ）のレセプト件数	
退院時共同指導料1の算定回数（精神科を含む）	
地域連携診療計画加算の算定回数	

14 自院が所在する地域の入退院支援ルールを運用している場合、又は地域連携クリティカルパスに参加している場合は、選択肢「有り」の中で該当する項目をご選択ください。上記の対応は行っていないが、今後、対応を検討している場合は、選択肢「無し（意向有り）」の中で該当する項目をご選択ください。

<地域連携クリティカルパス>  
患者が早めに自宅に帰れるように、治療を受けるすべての医療機関で共有する診療計画のこと。

2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

【2号機能】入退院時の支援

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

	開放型病院共同指導料（Ⅱ）の算定回数 ※「病院」のみご回答ください。	☆
	開放型病院共同指導料（Ⅱ）のレセプト件数 ※「病院」のみご回答ください。	☆
	退院時共同指導料2の算定回数（精神科を含む）	☆
	介護支援等連携指導料の算定回数	☆
特定機能病院・地域医療支援病院・紹介受診重点医療機関から紹介状により紹介を受けた外来患者数		
15	特定機能病院・地域医療支援病院・紹介受診重点医療機関から紹介状により紹介を受けた外来患者数（月平均）	0：無し 1：1人未満 2：1～3人 3：4～6人 4：7～9人 5：10人以上 該当番号 ⇒
特記事項		

特定機能病院／地域医療支援病院／紹介受診重点医療機関から紹介状により紹介を受けた外来患者数（月平均）について、該当する項目をご選択ください。  
外来患者数（月平均）は、前年度の外来患者延べ数（在宅患者数を除く）を前年度の1年間の外来診療を行った月数で割った数値となります。

2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

【2号機能】在宅医療の提供

【2号機能】（ハ）在宅医療の提供

1号機能を有する報告対象機関は2号機能をご報告ください

自院又は連携による在宅医療を提供する体制の確保状況

訪問診療の実施	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 →
※以下は「訪問診療の実施」が「有り」選択時のみご回答ください。		
自院において主治医として管理している在宅患者数	0：0人 1：1～10人 2：11～30人 3：31～60人 4：61～100人 5：101～150人 6：151～200人 7：201～300人 8：301人以上	該当番号 →
16 在宅患者に対する連絡体制の確保状況	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り（自院で日中のみ） 3：有り（自院で24時間） 4：有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応） 5：有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応）	該当番号 →
※以下は「在宅患者に対する連絡体制の確保状況」が「有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応）」または「有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応）」のいずれか選択時のみ「連携医療機関名称」または「連携訪問看護ステーション名称」をご回答ください。		
連携医療機関名称 1		
連携医療機関名称 2		
連携訪問看護ステーション名称 1		
連携訪問看護ステーション名称 2		

16 在宅患者に対して個別に連絡先の共有をおこなうなど何らかの対応をされている場合は、一定の対応を行っているものとして、「有り」の中で該当する項目をご選択ください。「他医療機関等と連携」とは、自院以外の医療機関や専門のコールセンター等と協力し、在宅患者に対する連絡体制を確保していることを指します。

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【2号機能】在宅医療の提供

17	在宅患者に対する往診体制の確保状況	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り（自院で日中のみ） 3：有り（自院で24時間） 4：有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関と連携して日中のみ対応） 5：有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関と連携して24時間対応）	該当番号 ⇒
	※以下は「在宅患者に対する往診体制の確保状況」が「有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関と連携して日中のみ対応）」または「有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関と連携して24時間対応）」のいずれか選択時のみ「連携医療機関名称」をご回答ください。		
	連携医療機関名称 1		
	連携医療機関名称 2		

17  
在宅患者に対する往診体制を確保している場合は、「有り」の中で該当する項目をご選択ください。

18	在宅患者に対する訪問看護体制の確保状況	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り（自院で日中のみ） 3：有り（自院で24時間） 4：有り（自院での一定の対応に加えて訪問看護ステーションと連携して日中のみ対応） 5：有り（自院での一定の対応に加えて訪問看護ステーションと連携して24時間対応）	該当番号 ⇒
	※以下は「在宅患者に対する訪問看護体制の確保状況」が「有り（自院での一定の対応に加えて訪問看護ステーションと連携して日中のみ対応）」または「有り（自院での一定の対応に加えて訪問看護ステーションと連携して24時間対応）」のいずれか選択時のみ「連携訪問看護ステーション名称」をご回答ください。		
	連携訪問看護ステーション 名称 1		
	連携訪問看護ステーション 名称 2		

18  
在宅患者に対する訪問看護の体制を確保している場合は、「有り」の中で該当する項目をご選択ください。



# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

## 【2号機能】在宅医療の提供

《機能コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

自院における訪問診療の診療報酬項目の算定状況		
	算定回数・レセプト件数【令和6年4月から令和7年3月診療分】	
	在宅患者訪問診療料（Ⅰ）1の算定回数	☆
	在宅患者訪問診療料（Ⅰ）1のレセプト件数	☆
	在宅患者訪問診療料（Ⅰ）2の算定回数	☆
	在宅患者訪問診療料（Ⅰ）2のレセプト件数	☆
	乳幼児加算の算定回数（在宅患者訪問診療料（1）・（2））	☆
	在宅患者訪問診療料（Ⅱ）の算定回数	☆
	在宅患者訪問診療料（Ⅱ）のレセプト件数	☆
	在宅時医学総合管理料の算定回数	☆
自院における往診の診療報酬項目の算定状況		
	算定回数【令和6年4月から令和7年3月診療分】	
	往診料の算定回数	☆
	夜間往診加算の算定回数	☆
	深夜往診加算の算定回数	☆
	休日往診加算の算定回数	☆
	緊急往診加算の算定回数	☆
	往診時医療情報連携加算（往診料）の算定回数	☆

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

## 【2号機能】在宅医療の提供

自院における訪問看護の診療報酬項目の算定状況		
算定回数・レセプト件数【令和6年4月から令和7年3月診療分】		
在宅患者訪問看護・指導料の算定回数	☆	
在宅患者訪問看護・指導料のレセプト件数	☆	
同一建物居住者訪問看護・指導料の算定回数	☆	
同一建物居住者訪問看護・指導料のレセプト件数	☆	
精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）の算定回数	☆	
精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）のレセプト件数	☆	
精神科訪問看護・指導料（Ⅲ）の算定回数	☆	
精神科訪問看護・指導料（Ⅲ）のレセプト件数	☆	
自院における訪問看護指示料の診療報酬項目の算定状況		
算定回数【令和6年4月から令和7年3月診療分】		
訪問看護指示料の算定回数（精神科を含む）	☆	
自院における在宅看取りの実施状況		
レセプト回数【令和6年4月から令和7年3月診療分】		
看取り加算または在宅ターミナルケア加算のレセプト件数	☆	
特記事項		

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

## 【2号機能】介護サービス等と連携した医療提供

<< 機関コード：999999999 / 医療機関名：医療機関名称 >>

【2号機能】（二）介護サービス等と連携した医療提供
 

1号機能を有する報告対象機関は2号機能をご報告ください

介護サービス等の事業者と連携して医療を提供する体制の確保状況		
19	主治医意見書の作成	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り           該当番号 →
20	介護支援専門員や相談支援専門員と相談機会の設定・サービス担当者会議等への参加	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り           該当番号 →
21	地域ケア会議・市町村の在宅医療介護連携推進事業による協議の場への参加	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り           該当番号 →
22	居宅療養管理指導の対応	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り           該当番号 →
介護支援専門員や相談支援専門員への情報共有・指導の診療報酬項目の算定状況		
算定回数【令和6年4月から令和7年3月診療分】		
在宅患者緊急時等カンファレンス料の算定回数		☆

19・主治医意見書の作成  
前年の1月1日～12月31日までの間に主治医意見書を作成している場合は、「有り」をご選択ください。

20・介護支援専門員や相談支援専門員と相談機会の設定・サービス担当者会議等への参加  
前年の1月1日～12月31日までの間に介護支援専門員や相談支援専門員との相談機会又はサービス担当者会議やそれに類似する会議に参加した場合は、「有り」をご選択ください。

21・地域ケア会議・市町村の在宅医療介護連携推進事業による協議の場への参加  
前年の1月1日～12月31日までの間に地域ケア会議又は市町村の在宅医療介護連携推進事業による協議の場に参加した場合は、「有り」をご選択ください。

22・居宅療養管理指導の状況  
前年の1月1日～12月31日までの間に居宅療養管理指導を実施している場合は、「有り」をご選択ください。

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

## 【2号機能】介護サービス等と連携した医療提供

介護保険施設等における医療の提供状況

23

介護保険施設等における医療の提供体制

「無し（意向無し）」の場合は、以下より選択してください。

0：無し（意向無し）

「無し（意向有り）」または「有り」の場合は、以下より選択してください。

1：無し（意向有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に常時相談を受ける体制））

2：無し（意向有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に介護保険施設等からの診療の求めに応じて常時診療を行う体制））

3：無し（意向有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に入院を要すると認められた介護保険施設等の入所者の入院を原則受け入れる体制））

4：有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に常時相談を受ける体制）

5：有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に介護保険施設等からの診療の求めに応じて常時診療を行う体制）

6：有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に入院を要すると認められた介護保険施設等の入所者の入院を原則受け入れる体制）

※以下は「介護保険施設等における医療の提供体制」が「有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に常時相談を受ける体制）」または「有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に介護保険施設等からの診療の求めに応じて常時診療を行う体制）」または「有り（介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等に入院を要すると認められた介護保険施設等の入所者の入院を原則受け入れる体制）」のいずれか選択時のみ「協力医療機関となっている介護保険施設等の名称」をご回答ください。

協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 1	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 2	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 3	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 4	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 5	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 6	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 7	
協力医療機関となっている 介護保険施設等の名称 8	

23

以下の対象施設において医療提供を行っている場合は、選択肢「有り」の中で該当する項目をご選択ください（複数選択可）。上記の対応を行っていないが、今後、対応を検討している場合は、選択肢「無し（意向有り）」の中で該当する項目をご選択ください（複数選択可）。

<対象施設>

介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、養護老人ホーム、軽費老人ホーム

33

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【2号機能】介護サービス等と連携した医療提供

24	自院において主治医として管理している施設入居中の患者数	0：0人 1：1～10人 2：11～30人 3：31～60人 4：61～100人 5：101～150人 6：151～200人 7：201～300人 8：301人以上	該当番号 →
	算定回数・レセプト件数【令和6年4月から令和7年3月診療分】		
	介護保険施設等連携往診加算（往診料）の算定回数		
	協力対象施設入所者入院加算の算定回数		
	緊急時施設治療管理料の算定回数		
	緊急時施設治療管理料のレセプト件数		
	施設入居時等医学総合管理料の算定回数	☆	

主治医や配置医として管理する高齢者施設等に入居中の患者数について、該当する項目をご選択ください。  
患者数は、**当年度の1月1日時点**とします。

<対象施設>  
介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、障害者支援施設

地域の医療介護情報共有システムの参加・活用状況			
25	地域の医療介護情報共有ネットワーク（システムを含む）の仕組みへの参加	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 →
	※以下は「地域の医療介護情報共有ネットワーク（システムを含む）の仕組みへの参加」		
	参加している 情報共有ネットワーク		

地域の医療や介護に関する情報共有の仕組みや、ICTを用いた患者情報の共有ネットワークに参加している場合は、「有り」をご選択ください。（電子カルテの情報共有システムへの参加やコミュニケーションツールの活用などが挙げられます。）

ACPの実施状況			
	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン等を踏まえた適切な意思決定支援に関する指針策定の状況	0：未策定 1：策定済	該当番号 →
	人生の最終段階における医療・ケアに関する情報等を介護支援専門員や相談支援専門員へ提供	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り	該当番号 →



## 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）参考

### 【2号機能】介護サービス等と連携した医療提供

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

特記事項	
------	--

### 【4号機能】その他の報告事項

【4号機能】その他の報告事項																																			
健診																																			
法定健診・検診																																			
※実施可能な法定健診・検診全てをご選択ください。																																			
<table><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>0：該当無し</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1：特定健診</td><td><input type="checkbox"/></td><td>4：職域健診</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>2：後期高齢者医療健康診査</td><td><input type="checkbox"/></td><td>5：乳幼児健診</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3：がん検診</td><td><input type="checkbox"/></td><td>6：学校健診</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td><input type="checkbox"/></td><td>7：妊婦健診</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td><input type="checkbox"/></td><td>8：産婦健診</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td><input type="checkbox"/></td><td>9：骨粗鬆症検診</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td><input type="checkbox"/></td><td>10：肝炎ウイルス検診</td></tr></table>				<input type="checkbox"/>	0：該当無し			<input type="checkbox"/>	1：特定健診	<input type="checkbox"/>	4：職域健診	<input type="checkbox"/>	2：後期高齢者医療健康診査	<input type="checkbox"/>	5：乳幼児健診	<input type="checkbox"/>	3：がん検診	<input type="checkbox"/>	6：学校健診			<input type="checkbox"/>	7：妊婦健診			<input type="checkbox"/>	8：産婦健診			<input type="checkbox"/>	9：骨粗鬆症検診			<input type="checkbox"/>	10：肝炎ウイルス検診
<input type="checkbox"/>	0：該当無し																																		
<input type="checkbox"/>	1：特定健診	<input type="checkbox"/>	4：職域健診																																
<input type="checkbox"/>	2：後期高齢者医療健康診査	<input type="checkbox"/>	5：乳幼児健診																																
<input type="checkbox"/>	3：がん検診	<input type="checkbox"/>	6：学校健診																																
		<input type="checkbox"/>	7：妊婦健診																																
		<input type="checkbox"/>	8：産婦健診																																
		<input type="checkbox"/>	9：骨粗鬆症検診																																
		<input type="checkbox"/>	10：肝炎ウイルス検診																																
予防接種																																			
26	定期予防接種	<table><tr><td>0：無し</td></tr><tr><td>1：有り</td></tr></table>	0：無し	1：有り	<div>26</div> <p>定期予防接種を実施している場合は、「有り」をご選択ください。</p> <p>&lt;定期予防接種&gt; A類疾病及びB類疾病のうち政令で定めるものについて、当該市町の区域内に居住する者であって政令で定めるものに対し、保健所長の指示を受け期日又は期間を指定して実施する予防接種。</p>																														
0：無し																																			
1：有り																																			
地域活動																																			
学校医・園医	<table><tr><td>0：無し</td></tr><tr><td>1：有り</td></tr></table>	0：無し	1：有り																																
0：無し																																			
1：有り																																			
産業医	<table><tr><td>0：無し</td></tr><tr><td>1：有り</td></tr></table>	0：無し	1：有り																																
0：無し																																			
1：有り																																			
警察医	<table><tr><td>0：無し</td></tr><tr><td>1：有り</td></tr></table>	0：無し	1：有り	該当番号 →																															
0：無し																																			
1：有り																																			

# 2-2. 報告項目について（紙調査票サンプル）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用） 参考

## 【4号機能】 その他の報告事項

《機関コード：999999999／医療機関名：医療機関名称》

学生・研修医・リカレント教育等の教育活動		
27	臨床研修医の教育・研修	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り 3：有り（追加の受け入れ可能） 該当番号 ⇒
28	総合診療専門研修プログラムへの参加	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り 3：有り（追加の受け入れ可能） 該当番号 ⇒
	総合診療専門研修プログラム以外のリカレント教育・研修 （派遣の受入れ、雇用等）プログラムへの参加	0：無し（意向無し） 1：無し（意向有り） 2：有り 該当番号 ⇒
特記事項		

27  
臨床研修医の教育・研修（基幹型臨床研修病院（大学病院含む）、協力型臨床研修病院（大学病院含む）、臨床研修協力施設）を実施している場合は、「有り」をご選択ください。すでに実施していて、追加の受け入れが可能な場合は、「有り（追加の受け入れ可能）」をご選択ください。今後、対応を検討している場合は、「無し（意向有り）」をご選択ください。

28  
すでに実施していて、追加の受け入れが可能な場合は、「有り（追加の受け入れ可能）」をご選択ください。今後、対応を検討している場合は、「無し（意向有り）」をご選択ください。

＜総合診療専門研修プログラム＞  
一般社団法人日本専門医療機構が認定する総合診療専門医研修プログラムのこと。

## 2-3. G-MIS操作（各機能入力後）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）

2025年度\_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）

正式名称 正式名称（フリガナ） 所在地 報告状況 提義状況

報告中 -

項目	入力状況	更新日時	入力
1号機能	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力
2号機能	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力
(1) 通常の診療時間外の診療	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力
(2) 入退院時の支援	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力
(3) 在宅医療の提供	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力
(4) 介護サービス等と連携した医療提供	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力
(5) その他の報告事項	入力完了	2025/2/1 6:50:38	入力

②⑤ 各項目の入力状況が全て「入力完了」となっていることを確認します。

②⑥ 「入力内容確認」をクリックします。

各画面の入力内容に応じて、各機能の有無が自動で反映されます。なお、機能判定に必要な項目が入力されていない場合、「-」が表示されますので、機能の有無の反映がなされるよう入力をお願いいたします。

## 2-3. G-MIS操作（各機能入力後）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）



厚生労働省 G-MIS  
医療機関情報支援システム

ホーム 調査 その他

検索キーワードを入力してください

かかりつけ医マニ...

報告  
2025年度\_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）

差異表示 帳票出力 帳票出力(院内掲示用)

正式名称  
かかりつけ医マニュアル編\_病院\_変更報  
告

正式名称(フリガナ)  
カカリツケイマニアルヨウ\_ビョウイン\_ヘンコウホウコ  
ク

所在地  
かかりつけ医マニュアル編\_病院\_変更報  
告

報告状況  
報告中

編集状況  
-

各機能の有無

日常の診療を総合的かつ継続的に行う機能	通常の診療時間外の診療	入院時の支援	在宅医療の提供	介護サービス等と連携した医療提供
有り	有り	有り	有り	有り

1号機能 2号機能

(1) 日常の診療を総合的かつ継続的に行う機能

1つ前の報告内容

本報告の内容

「かかりつけ医機能（1号機能：日常の診療を総合的かつ継続的に行う機能）全て無し」として一括報告を実施する

「かかりつけ医機能（1号機能：日常の診療を総合的かつ継続的に行う機能）全て無し」として一括報告を実施する

※本項目へチェックを入れた場合、かかりつけ医機能（1号機能：日常の診療を総合的かつ継続的に行う機能）の判定用項目全てに「無し」と入力されます

※本項目へチェックを入れた場合、かかりつけ医機能（1号機能：日常の診療を総合的かつ継続的に行う機能）の判定用項目全てに「無し」と入力されます

基本情報は医療機能情報提供制度で報告された情報を表示しています。基本情報の変更が必要な場合は医療機能情報提供制度より変更してください。

基本情報は医療機能情報提供制度で報告された情報を表示しています。基本情報の変更が必要な場合は医療機能情報提供制度より変更してください。

なお基本情報のうち、都道府県コード、都道府県名、機関コード、機関区分、保険医療機関番号は医療機能情報提供制度の報告画面では変更できません。

都道府県コード  
02

都道府県名  
東京都

都道府県コード  
02

都道府県名  
東京都

入力内容が反映された院内掲示用の帳票を出力することができます。（詳細は「院内掲示用の帳票を出力する」を参照）

### ②7 入力内容を確認します。

1. タブを切り替えると各項目の回答内容を確認できます。
2. 画面左側の「1つ前の報告内容」とは、本報告の前の報告情報を示し、見比べながら報告内容を確認することができます。

## 2-3. G-MIS操作（各機能入力後）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）

28

報告

引き戻し 入力内容確認

2025年度\_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）

正式名称 正式名称（フリガナ） 所在地 報告状況 経過状況

報告中 -

各機能の有無

日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能	通常の診療時間外の診療	入退院時の支援	在宅医療の提供	介護サービス等と連携した医療提供
有り	有り	有り	有り	有り

各項目の入力を行う場合は、「入力」ボタンをクリックし、各報告画面で内容を入力してください。  
下記の各項目にかかる「入力状況」がすべて「入力完了」であることを確認し、「報告」ボタンをクリックしてください。

分類	項目	入力状況	更新日時	入力
1号機能	(1) 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能	入力完了	2025/2/1 16:56:38	入力
2号機能	(1) 通常の診療時間外の診療	入力完了	2025/2/1 16:56:38	入力
	(2) 入退院時の支援	入力完了	2025/2/1 16:56:38	入力
	(3) 在宅医療の提供	入力完了	2025/2/1 16:56:38	入力
	(4) 介護サービス等と連携した医療提供	入力完了	2025/2/1 16:56:38	入力
	(5) その他の報告事項	入力完了	2025/2/1 16:56:38	入力

②⑧ 「報告」をクリックします。

②⑨ 「OK」をクリックします。

③⑩ 報告状況が「報告済」になったことを確認します。

③⑪ 「ホーム」をクリックします。

本報告を実施後、医療機能情報提供制度上で「かかりつけ医機能報告取込」の実施をお願いいたします。

29

キャンセル OK

！ 報告した内容は医療機能情報提供制度の画面でも一括取り込みができます。

31

ホーム

報告申請登録しました。

30

報告

引き戻し 入力内容確認

2025年度\_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）

正式名称 正式名称（フリガナ） 所在地 報告状況 経過状況

報告済 -



院内掲示用の帳票を出力する際の手順です。



報告  
2025年度\_定期報告（かかりつけ医機能報告制度）

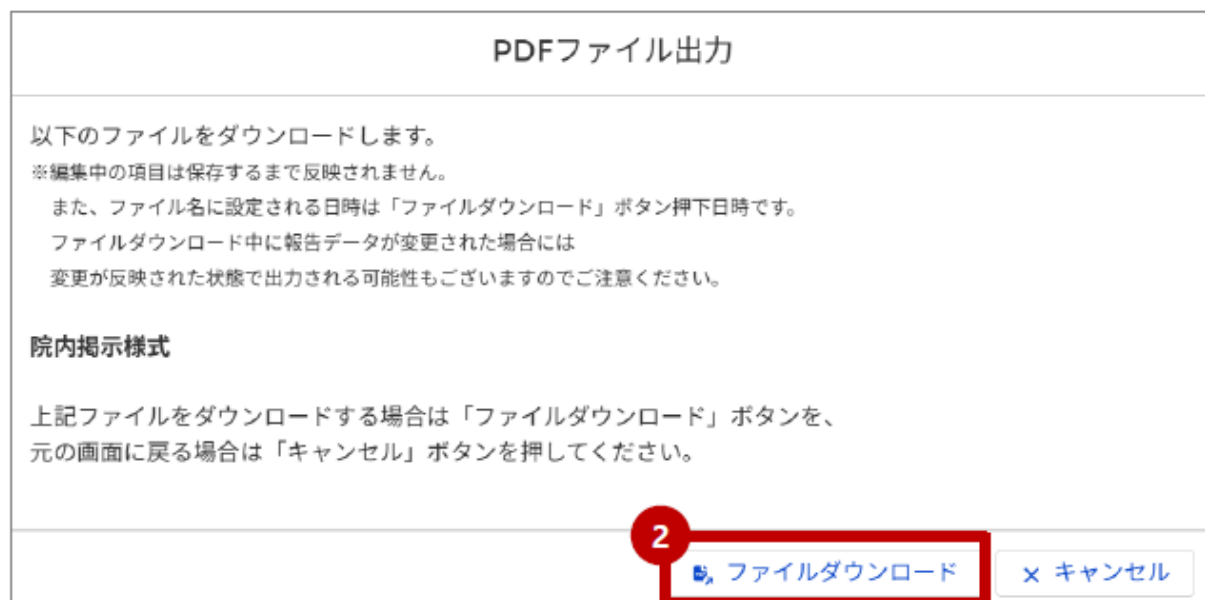
正式名称 正式名称（フリガナ） 所在地 報告状況 経過状況  
報告中 経過あり

各機能の有無

日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能	通常の診療時間外の診療	入退院時の支援	在宅医療の提供	介護サービス等と連携した医療提供
有り	有り	有り	有り	有り

①「帳票出力（院内掲示用）」をクリックします。

②「ファイルダウンロード」をクリックします。



PDFファイル出力

以下のファイルをダウンロードします。  
※編集集中の項目は保存するまで反映されません。  
また、ファイル名に設定される日時は「ファイルダウンロード」ボタン押下日時です。  
ファイルダウンロード中に報告データが変更された場合には  
変更が反映された状態で出力される可能性もございますのでご注意ください。

院内掲示様式

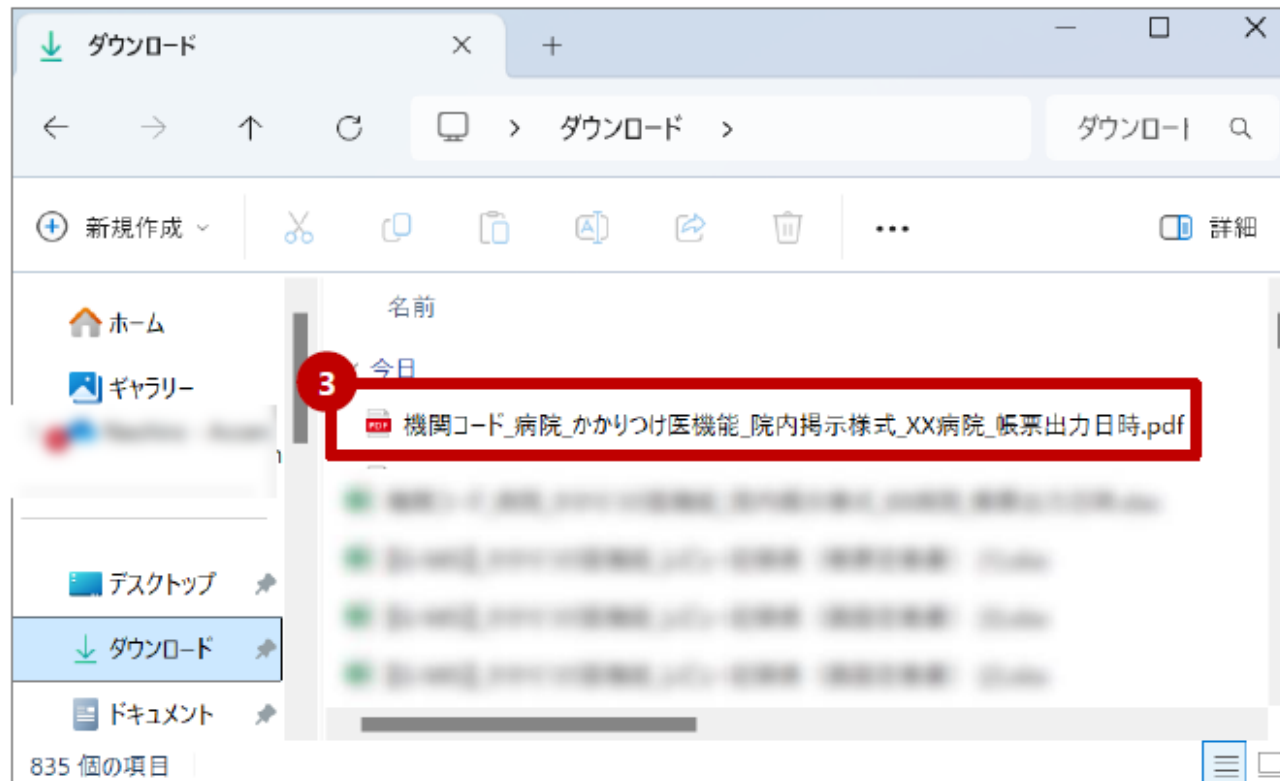
上記ファイルをダウンロードする場合は「ファイルダウンロード」ボタンを、  
元の画面に戻る場合は「キャンセル」ボタンを押してください。

2 ファイルダウンロード × キャンセル

！  
かかりつけ医機能を有する医療機関の要件として、報告したかかりつけ医機能の一定の内容を院内掲示する必要があります。  
G-MISより出力する場合は、本手順で出力してください。

## 2-3. G-MIS操作（各機能入力後）

令和7年11月 かかりつけ医機能報告マニュアル（医療機関用）



③ダウンロードしたファイルを開きます。

④ファイルを印刷します。

### 1. かかりつけ医機能報告

Q1. かかりつけ医機能報告制度で医療機関が実施することを教えてください。

▶ 本制度に基づき医療機関に実施いただきたい事項は、主に以下 3 つになります。

- ①報告：毎年1～3月にかかりつけ医機能の内容について都道府県にご報告をお願いします。
- ②院内掲示：かかりつけ医機能を有する医療機関の要件として、報告したかかりつけ医機能の一定の内容を院内提示する必要があります。
- ③患者説明：おおむね4か月以上継続して医療を提供することが見込まれる場合で、患者・家族から求めがあったときは、治療計画等のご説明に努めて頂くようお願いします。

Q2.1号機能の報告事項「かかりつけ医機能に関する研修の修了者の有無」は、どのような研修が該当しますか。

▶ 「かかりつけ医機能に関する研修」で報告いただく研修は、当面の間、報告を行う医療機関において「かかりつけ医機能」に関連すると考える任意の研修を報告していただくようお願いいたします。

なお、報告対象となる望ましい研修項目につきましては、「かかりつけ医機能報告に係る医師の研修について（通知）」（医政総発0827第1号）にて整理しておりますので、ご確認くださいようお願いいたします。

**Q3. 1号機能を有する医療機関として報告するためには、幅広い診療領域・疾患に対応できることが必須ですか。**

各医療機関において全ての診療領域・疾患への対応が必須というものではありません。17の診療領域のうちいずれかの診療領域について一次診療を行うことができ、医療に関する患者からの相談に応じることができる場合は1号機能を有する医療機関としてご報告いただくことが可能です。

かかりつけ医機能が「有り」となる要件についての詳細は本マニュアルのP6をご確認ください。

**Q4. どのような場合に「患者への説明」が必要ですか。**

おおむね4か月以上継続して医療を提供することが見込まれる場合で、患者やご家族から求めがあった際に、治療計画等のご説明に努めて頂くようお願いいたします。

なお、厚生労働省ホームページにおいて「患者説明様式（例）」を掲載しておりますので、必要に応じてご活用ください。（必ずしもこちらの様式により説明を行う必要はなく、任意の様式で実施いただいても差支えありません。）

Q5. かかりつけ医機能報告制度により、医療機関にはどのようなメリットがありますか。

各医療機関から報告されたかかりつけ医機能の情報は、厚生労働省が運用する医療情報ネット（ナビイ）※を通じて国民や患者に広く公開されるため、国民や患者がかかりつけ医を見つけやすくなり、貴院の特徴や取り組みも広く周知されます。

※医療情報ネット（ナビイ）：厚生労働省が運用する、診療日や診療科目といった一般的な情報に加え、対応可能な疾患・治療内容、提供しているサービスなどさまざまな情報から、全国の医療機関を検索することのできるシステムです。

### 2. G-MISの操作手順

Q6. かかりつけ医機能報告を行うために新たにG-MISのアカウント申請が必要ですか。

医療機能情報提供制度において、既にG-MISのアカウントを有している場合は、当該アカウントにてかかりつけ医機能報告が可能となりますので、新規申請は不要です。

一方で、まだG-MISのアカウントを有していない医療機関におかれては、新規アカウント申請が必要になりますので、各都道府県の案内を確認の上、アカウントの申請をお願いいたします。



## Q7. G-MISログイン画面のログインID・パスワードが分からない場合、どのように対処すればよいですか。

### ▶ <ユーザ名（ログインID）をお忘れの場合>

ユーザ名（ログインID）は、G-MIS事務局からのメールに記載されています。G-MIS事務局からメールが届いていないか（※）ご確認ください。

メールが確認出来たら、メールに記載されている「パスワードリセット用URL」にアクセスし、「ユーザ名」でログインいただきますようお願いいたします。

（※）送信元、件名で「G-MIS」などのキーワードでメールボックスの検索をお願いします。送信元のメールアドレスは、令和5年度までは「info@g-mis.net」、令和6年度からは、「helpdesk@gmis.mhlw.go.jp」メールアドレスから送付しております。

### <パスワードをお忘れの場合>

G-MISログイン画面\_（※）の「パスワードをお忘れですか？」のリンクをクリックし、ユーザ名（ログインID）を入力いただくことで、登録されているメールアドレスに、パスワードリセットの案内メールが送信されます。

（※）G-MISログイン画面：<https://www.med-login.mhlw.go.jp/>

## Q8. G-MISへ入力したかかりつけ医機能報告の内容を印刷できますか。

▶ 院内掲示用の帳票を出力可能です。また、院内回覧用の帳票もPDF形式で出力可能ですので、必要に応じて印刷しご利用ください。

**Q9. 保険医療機関番号の突合に失敗し、「データベースとの照合に失敗しました」というエラーが表示された場合、どのように対処すればよいですか。**

「保険医療機関番号確認画面」においてエラーメッセージが表示される場合、以下のケースが考えられます。

※照合先の「保険医療機関番号」に対し、入力する照合元を「医療機関コード」と記載します。

### ＜誤った医療機関コードを入力した場合＞

正しい医療機関コードを入力してください。

なお、照合先のデータベースは厚生局データに基づいて作成・更新が行われますが、この厚生局データは前年度3月末時点のデータと照合します。今年度中に保険医療機関番号が変更になっている場合も、前年度3月末時点の医療機関コードを入力してください。

### ＜非保険医療機関（自由診療の診療所等）の場合＞

非保険医療機関（自由診療の診療所等）は、NDBへのデータ収載がないため、NDBデータからのプレプリントは行えません。データベースとの照合はできませんので、「スキップ」をクリックし定期報告を開始してください。


**Q10. 定期報告時、前年度の情報をプレプリントしたいが、「保険医療機関番号確認」画面で、誤って「スキップする」を押下してしまった場合、どのように対処すればよいですか。**

かかりつけ医機能報告の定期報告における「保険医療機関番号確認画面」にて「スキップする」を押下した場合、次回以降のアクセス時は調査票入力画面に遷移します。

データベースと照合し、診療報酬項目の「算定回数」および「レセプト件数」の前年度実績件数をプレプリントを希望する場合に、「保険医療機関番号確認画面」にて誤って「スキップする」を押下してしまった場合は、定期報告を取消し、あらためて当該画面からご入力ください。

なお、取消した場合、入力途中の定期報告の内容は削除され復元することができませんのでご注意ください。

Q11. 1号機能の報告事項のうち「17の診療領域ごとの一次診療の対応可否」や「一次診療を行うことができる疾患」があるが、対応可能な日時等が限定的であっても、「対応できる」として報告することは可能なのか。（例：毎月第2水曜の午前のみ、対応可能な医師がいるなど）



可能です。各報告事項に係る詳細については、令和7年度秋頃に厚生労働省において作成予定の「かかりつけ医機能報告マニュアル（仮称）」を参照ください。



### 3. 今後のスケジュールについて

時 期		内 容
令和7年	11月4日	【国】 かかりつけ医機能報告マニュアル発出 かかりつけ医機能報告制度操作手順動画公開
	12～1月	【県】 <u>各医療機関向け制度説明会（12月17、19、22日、1月7日）</u> かかりつけ医機能報告依頼文発出
令和8年	1～3月	【医療機関】 定期報告 ※ 医療機能情報提供制度に基づく報告と併せて実施
	4月以降	【県】 報告内容の集計・分析、地域の協議の場への報告 【協議の場】 かかりつけ医機能を確保するために必要な具体的 方策の検討、協議結果の公表